

## J I A広島地域会まちづくり委員会から提案 (その3)

第25号 (平成28年9月15日)

### ステップ2. 公共施設の適正再配置及び新たな機能

全体の配置計画は、周辺とのつながり及び平和記念公園と中央公園のバランスを重視し、被爆100年を見据えて柔軟性をもった段階的な整備を基本とする。

#### 全体のゾーニングについて (案)

- A** : 新たに国際文化交流機能を備えた公共施設と一体となった広場を中心に据える。日本及び広島の伝統文化を学び、伝承する機能。原爆ドームと平和記念公園と並ぶ新しいブランドとなり、観光客が必ず立ち寄りたくなる場所。
- B** : ファミリープールはDゾーンに移し、既存の公共施設を適正再配置する。
- C** : 中央図書館をBゾーンに移し、将来の建替え用地とする。
- D** : ファミリープールを移設し、夏以外も子供たちが自由に遊べる場とする。
- E** : 将来の県立体育館の建替え用地とし、当面現在のオープンスペースを維持する。
- F** : 広島サッカー場の建設候補地。その場合、川に近い高層アパートは宿泊施設等に用途変更。
- G** : 高層アパートは順次、用途変更し、寿命がくれば当初の公園計画に戻す。
- H** : 川沿いにある商工会議所等の民間施設の移転候補地とする。

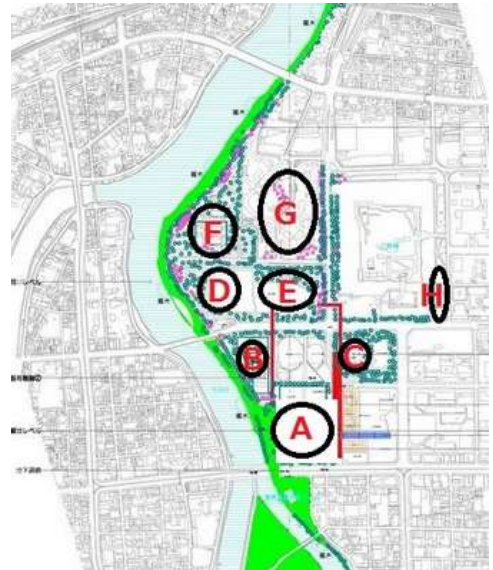
#### Aゾーン (球場跡地エリア) について (案)

ステップ2の段階では、まだ既存建物が残っている状況なので、球場跡地内の計画とする。

平和記念公園・原爆ドームとつなげるため、南北の丹下軸線を通し、それに直交させて建築群(1・2・3)を配置。平和記念公園の建築群と対峙した型を取り、2はピロティ形式で北側の公園へのゲートの役割を持たせる。

- 1** : 平和記念公園と中央公園全体の観光サービスを行うビジターセンター及び茶道・華道・書道等の日本文化が体験できる文化交流館(仮称)の合築
- 2** : 2階は多目的に利用できる展示空間で本館と渡り廊下で連結
- 3** : 伝統芸能の神楽、能、歌舞伎等が可能なホール
- 4** : フラワーフェス、平和祈念式等のイベント時はサブ会場として休息所。海外の国々の日を設定して各国のお祭り会場、他。

(日本建築家協会広島地域会まちづくり委員会 瀧口信二)



全体のゾーニング計画案



Aゾーンのステップ2の配置計画案

- 1** : ビジターセンター・文化交流館
- 2** : 展示棟(地上はピロティ)
- 3** : 日本文化芸能ホール(仮称)  
(青少年センター移転後)
- 4** : ひろしま市民ひろば



イメージ(平和記念資料館)

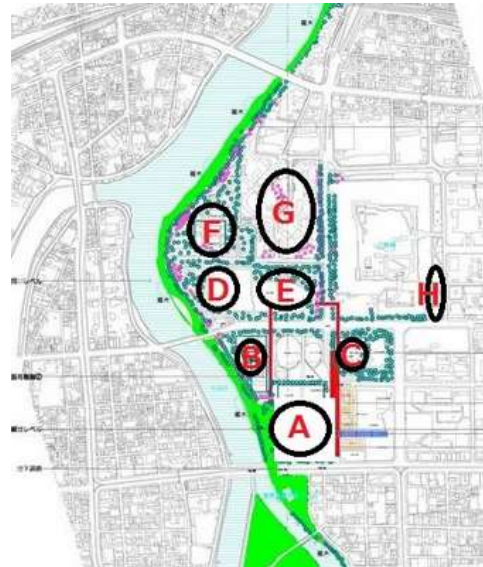
### ステップ3. ファミリープールをDゾーンに移設

老朽化が進むファミリープールであるが、現在も夏になると親子連れで大変な賑わいをみせている。しかし、市の中心でかなりの面積を持ちながら、冬になるとまったく機能しないもったいない施設でもある。これをDゾーンに移設し、日本の情緒をもつ施設として建て替えることを提案する。

日本の情緒を持たせることで、夏の水遊びの場としてユニークな空間になるだけでなく、冬は屋外で楽しめる日本の遊具やこたつ茶屋を設けた公園として開放し、一年を通じて親しまれる施設とすることが目標である。

広島の子供たちが日本文化にふれる機会を積極的に増やし、将来の国際交流の素地を養ってほしいとの願いを込めた。

- ・夏場は簡易仕切り（点線）を設けてファミリープール（有料）として利用し、夏以外は公園として開放します。
- ・竜の池は通常のプール、河童の川は流水プールを想定しています。
- ・ゲートハウスは長屋門風の建物で、チケットや飲食物等を販売します。
- ・回廊型の栈敷席は、子供を見守りつつ大人が休憩できる場所ですが、冬季はこたつを並べ屋外空間でゆっくりお茶を飲める施設とするなど、冬季にも積極的に利用できる施設とします。
- ・機械室、便所、倉庫等を設けたL字型の建物で外部と仕切っています。
- ・護岸の親水広場とDゾーンは太鼓橋などでつなぐなど、川に親しむ仕掛けを考えます。



全体のゾーニング計画案

(ゾーンの凡例はメルマガ25号参照)



ファミリープールの配置計画案

- 1: ゲートハウス  
(チケット売り場、売店、脱衣室、トイレ、他)
- 2: 回廊栈敷 (冬季こたつ茶屋)
- 3: 設備棟 (機械室、トイレ、倉庫等)
- 4: レストラン



イメージ写真

(日本建築家協会広島地域会まちづくり委員会 高橋幸子)



#### ステップ4. Bゾーンに公共建築再編整備

ひろしま市民ひろばのコンセプトとして「世界のこどもに夢を渡せること」と仮説する。

中央公園にある公共施設は下記の通り、いずれも建設後相当年数を経て、いずれ再整備の時期を向かえる。

- ・広島市中央図書館 (築後42年)
- ・広島市映像文化ライブラリー (築後34年)
- ・広島市こども文化科学館 (築後36年)
- ・広島市青少年センター (築後50年)

仮説としたコンセプトに基づき、これからの図書館を考えてみると、“情報がデジタルである”ことが当然となり、文化を支える文字、映像、絵画、演劇、音楽など多岐にわたるツールを縦横無尽に使いこなし表現する人材が求められる。中央図書館はその一翼をになうべく変化が要求される。

映像文化ライブラリーは、地方自治体が設置した我が国最初の施設であるが、これも発展的に世界のこどもに向けて情報発信を拡げるなど期待されている。また、こども文化科学館もすでに先端科学技術の情報や内外の科学館とのネットワークの構築などに大きく遅れをとっており、これからを目指した改革が望まれている。

これらは、バラバラに整備するのではなく有機的な機能構成のもとで体系的に考えていきたい。青少年センターもしかりである。

美術や映像、文学や演劇、音楽の文化芸術の活動拠点であると同時に、世界のこどもがこれらの最先端のメディアを通じて世界の施設とネットワークにより繋がって、自由に情報のやりとりができ、使いこなせるようになる施設群としてイメージする。

右図は、中央公園のランドデザインを意識した総合文化芸術システムの施設イメージである。

①元安川にそれぞれの場面で開かれており、南に原爆ドームを意識させる雁行した配置とし、各施設群はユニバーサルに快適な動線で結ばれている。

②地上は3階程度の低層とし、和風のデザインとする。



全体のゾーニング計画案



Bゾーンの配置計画案

- 1 : 日本文化ラボ
- 2 : メディアラボ
- 3 : こども科学ラボ
- 4 : 芸術表現ラボ



名古屋市科学館



仙台メディアテーク

(日本建築家協会広島地域会まちづくり委員会 前岡智之)

**ステップ5. Fゾーンに広島らしいサッカー場を！**

サッカー場の建設地が迷走し、現在Eゾーンが最有力候補に浮上しているが、むしろFゾーンの方が望ましいのではないかと。

敷地が不整形のため整形なスタジアムは難しいかもしれないが、逆にマツダスタジアムのようにユニークで面白いプランが期待できる。

**計画のイメージ**

川沿いのポップラ通りが観客のメインアプローチとなり、大型スロープのプロムナードからコンコースにアクセス。表玄関は西側で、車の進入等の裏玄関は東側。土手との高低差約2.5mを有効に活用。

2階の観客スタンドは東・西・北側に配置し、ブリッジで連結。南側は開放されて大型電光掲示板を配置し、中央公園側への眺望や川沿いに流れる風通しをよくする。

ポップラ通り沿いの前庭や後庭には適宜、売店・倉庫・トイレ等を配置し、試合日以外のミニイベント等にも活用できる。

コンコースは昼間に開放され、施設内に設けられたスポーツジムや体育教室等のランニングコースとして利用。勿論、市民の散歩コースとしても開放。

**立地のメリット**

1km圏内にJRの横川駅や新白島駅、バスセンターがあり、バス・電車やアストラムラインの停留所からも近い。四方からのアクセスは理想的であり、人の回遊性が格段に向上する。

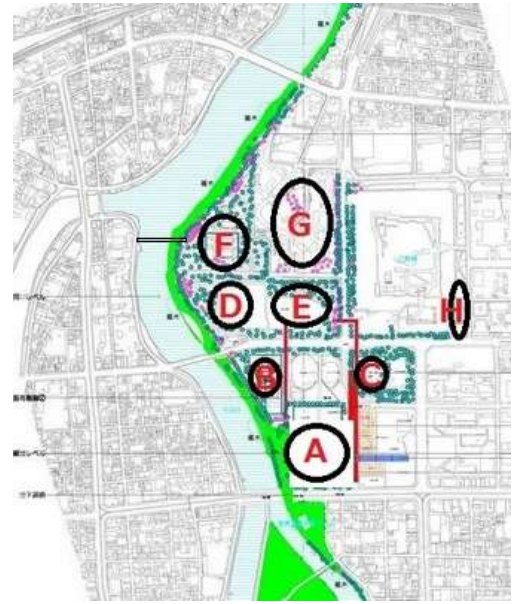
川沿いに配置することにより、基町環境護岸との一体的な整備が可能であり、本川を通して中央公園、原爆ドーム、平和記念公園へと連結できる。

**実現するためには**

Fゾーンに建設するためには既存の市営中層アパートの解体が前提となる。住民の理解を得ながら、期限を定めて高層アパートの空き家や他の市営アパート等への転出を図っていく必要がある。

高層アパートも川沿い側は宿泊施設や起業家等への店舗・事務室に用途変更していくことも検討。

現在の環境条件のみで判断するのではなく、未来を見据えて、現状を変えていく積極的な姿勢が行政に求められている。



全体のゾーニング計画案



Fゾーンの配置計画案

- 1 : 前庭 2 : 後庭 3 : 駐車場
- 4 : グランド 5 : 1階客席スタンド
- 6 : 2階観客スタンド



(日本建築家協会広島地域会まちづくり委員会 瀧口信二)



広島カーブが誕生した広島市民球場。移転してからすでに5年以上経過したが、都心の再生に向けた有効活用が期待されながらも未だに具体的な方針に至っていない。それは、跡地をとりまく中央公園全体のランドデザインの欠如が個々の方針決定を流動的にする原因である。

日本建築家協会中国支部広島地域会のまちづくり委員会は、ランドデザインの提案を続けている。これまでに、当面のひろば整備、市民プールの移設、公共建築の再編整備、サッカー場計画などを段階的に整備する計画案を紹介してきた。

今回は、川沿いの民間施設が移転した後の姿、「ひろしま市民ひろば」の計画案を提案する。

## ステップ6. ひろしま市民ひろばの計画案

### ☆ 都心再生の起爆剤となるひろば整備を

平和公園から中央公園に至る区域は、隣接する河川空間と合わせると面積200haを超える広島の都心コア空間を形成している。この地域の被曝100年におけるランドデザインを描くためには、時を超える夢のある空間構成の骨格が必須である。

この地域は元安川に沿って南に平和記念公園ゾーン、北に広島中央公園で構成し、都心の商業業務地域と隣接している。この2つのゾーンは、世界最初の被爆地である広島国際平和文化都市としての復興を実証していく役割を担っているが、これまで役割は理解しながらも戦後の着の身着のままの復興の中で、中央公園ゾーンは計画的、総合的な空間構成が形成されていない。

目標年(2045年、28年後)には、既存の施設のほとんどは耐用年限を超える。今、この時点で目標を定め、総合的に段階的に再編するプロセスが必要である。

中でも「ひろしま市民ひろば(旧広島市民球場跡地及び周辺地区)」は、世界遺産の原爆ドームと相対し、2つのゾーンの鼎の意味をもつ地区である。地域全体が活発に利用されるには、利用客を吸引し発散するエネルギーの源、いわゆる「心臓の役割」を果たしていく必要がある。そのためには、固定的な機能やある特定の施設ではなく、自由に誰でもいつでも利用できる空間でありたい。



ひろしま市民ひろばの計画案

### ☆ ひろばは、周囲との関係で成り立つ

施設跡地はその施設が無くなると求心性が失われ、周囲との関係が失われる。跡地の利用を考える時、改めて周囲の施設との関連を組立てることが必要となる。すなわち、球場と各施設の背面関係が、ひろばの形成により正面関係に大きく変化するのである。

現状は、東面はメルパルク広島とSOGOの駐車場、NTT基町通信センタービル、NTT基町ビルが建ち、3階のバスセンターに登るスロープにより裏側となっている。

西面は広島商工会議所ビル、駐車場、PL広島中央教会、広島市青少年センターが建ち、それぞれひろばに背を向けている。南面は幾らかの緑地のほか電車道に開け、原爆ドーム、平和記念公園と繋がり、ひろばに向いている。北面は広島市子ども文化科学館、広島市市民プール、広島県立体育館があり、緑地が広がっている。

ひろばを描くには、これら周辺施設の変化と相互関係を紐解かなければならない。

#### ① ガラガラポーン再開発

メルパルク広島を除く東面地区を法定容積900%に高度利用する。ここに従前権利床のNTT施設のほか、保留床として西面にある広島商工会議所ビル、駐車場とともに3階にバスセン

ターを収容し、さらに商業業務施設、公共施設等を含む複合ビルとして再開発する。現在の広島商工会議所ビル、駐車場、PL 広島中央教会は広島市が取得し、広島中央公園に編入する。

## ②高潮対策護岸の利用

川沿い一帯が公園に編入されるとひろばは元安川に大きく開かれるが、3メートル程度の土手があり、ここはなだらかな変化のあるスロープとする。

## ③公共施設の再整備

やがて耐用年限を迎える広島市こども文化科学館、広島市市民プール、広島県立体育館、市立図書館や映像文化ライブラリーはこれからの新しい文化、科学、国際、こども施設へと再編し、段階的に整備する。

## ④原爆ドームのあるエリアと地下通路により連結

広島商工会議所ビル、駐車場、PL 広島中央教会の移設に伴い、ひろばの地盤から3メートルほど下げた広い地下通路を整備する。また、地下商業施設シャレオをここまで延伸する。

## ⑤ガレリアによる SOGO やセンター街との連結

ペデストリアンデッキにより人・車の動線を分離することにより、公園全体に回遊性を与える歩行者ネットワークを整備する。

## ☆ 参加しやすいひろしま市民ひろばの空間構成

電車通りのレベルで広がる多目的利用のひろばとする。東面のガラガラポン再開発施設や北面の複合型公共施設により囲まれ、西面はなだらかなスロープを経て元安川に広がる。

### *2045年〇月〇日は、秋晴れの日曜日、我が家は朝からうきうき！*

今日は家族みんなで「ひろしま市民ひろば」に行きます。あの広島市民球場のあったところ、バスセンターにつながっているので、家の前のバス停からほんの20分で着きます。

今日はコンサートです。ここでは毎日のようにいろんな楽しいイベントがあり、誰でもいつでも参加できます。ひと遊びしたあとは、お昼を元安川の河岸に座って食べます。ここにはいろんなお店があるので、眺めながら歩いてみるだけでも楽しいし、雁木ボートに乗って白島まで行ってみるのもいいですね。

最近できた子ども文化科学館には、世界一のプラネタリウムがあります。今日は世界の恐竜が展示されているとか、また青少年センターでは市民ミュージカルがあるようです。図書館も新しくなって世界の図書館とオンライン化しました。

最近、平和記念公園を訪れる外国客の方がこちらの中央公園に必ず立ち寄ります。特に子供たちには人気があるようで、この間も英語で話しかけられてびっくりしました。近くにいた人が通訳してくれて、話すことができました。

これからも暮らしを豊かで楽しいものとし、世界の人々と交流することにより、愛着のもてるひろしまのまちとなっていくといいなあ。

(日本建築家協会広島地域会まちづくり委員会 前岡智之)